



日本銀行金融ネットワークシステム
メッセージフォーマット仕様書
(照会データファイル取得機能・業務データ編)

2015年10月

第1版

日本銀行
BANK OF JAPAN

目 次

I. 概要

1. 仕様書の記載内容
 - (1) 仕様書の位置付け
 - (2) 仕様書の記載内容等
2. CPU接続の対象電文
3. 取引データの留意事項
 - (1) 照会下り電文の上限値
 - (2) 照会上り電文の入力データ
 - (3) 照会下り電文の出力データ
4. 使用する文字コード
5. エラー電文
6. XMLスキーマ

II. メッセージフォーマットおよびファイルフォーマット

1. 対象電文一覧
2. メッセージフォーマットおよびファイルフォーマット
 - (1) 照会上り電文メッセージフォーマット
 - (2) 照会下り電文ファイルフォーマット

III. コード

1. 業務データとして使用するコード
 - (1) コード一覧
 - (2) コード体系表
2. リターンコード
 - (1) リターンコード体系
 - (2) リターンコード値一覧

(別紙)

- 別紙 1 対象電文一覧
- 別紙 2 照会上り電文メッセージフォーマット
- 別紙 3 照会下り電文ファイルフォーマット
- 別紙 4 コード一覧
- 別紙 5 コード体系表
- 別紙 6 リターンコード体系
- 別紙 7 リターンコード値一覧

(スキーマ)

- 照会上りスキーマ

I. 概要

1. 仕様書の記載内容

(1) 仕様書の位置付け

日本銀行金融ネットワークシステムの接続仕様書等の体系における本仕様書（以下、「仕様書」といいます。）の位置付けは図 I. 1-1 に示すとおりとなります。「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則」¹と併せてご使用ください。

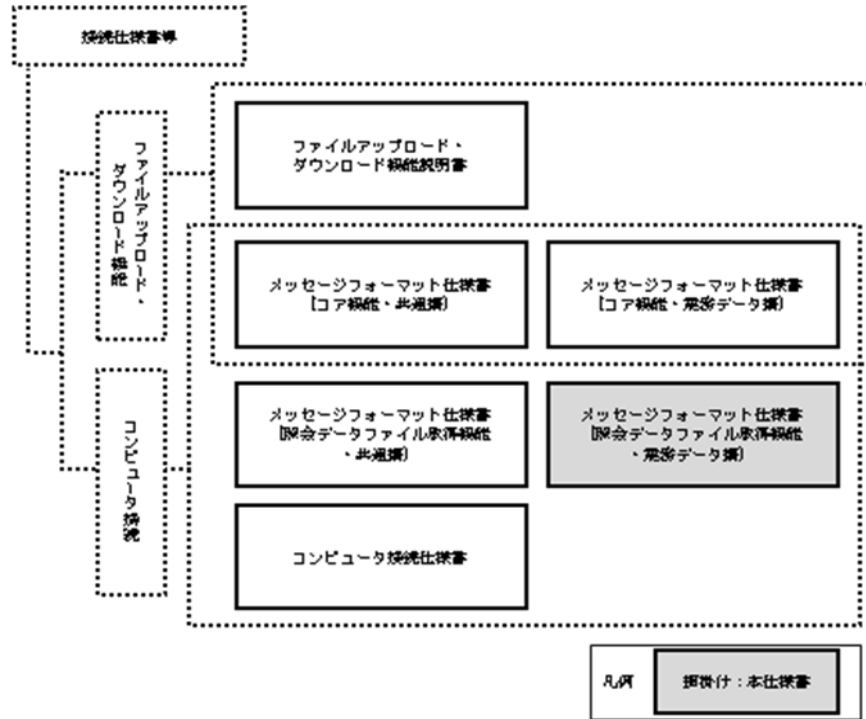


図 I. 1-1 接続仕様書等の体系図

¹ 日本銀行ホームページの「業務上の事務連絡」に掲載しています。

(2) 仕様書の記載内容等

仕様書では、日銀ネットの照会データファイル取得機能を利用する際、コンピュータ接続（以下、「CPU接続」といいます。）を用いて送受信する取引データのうち、業務データ部のメッセージフォーマット等に関する仕様を記載しています。

2. CPU接続の対象電文

CPU接続では、照会データファイル取得機能として提供するすべての送受信電文²を利用対象とします。
詳しくは、「II. 1. 対象電文一覧」を参照してください。

3. 取引データの留意事項

(1) 照会下り電文の上限値

照会下り電文の取引データのうち、電文の明細数が多く、データ長が大きくなると見込まれる電文については、照会データファイル取得機能において取得件数の上限値を設定します。上限値を設定する業務データおよび上限値は「II. 1. 対象電文一覧」を参照してください。

なお、取得件数が上限値を超える場合には、検索条件を絞り込んだうえで複数回に分けて照会するようにしてください。

(2) 照会上り電文の入力データ

過日分のデータを取得する際、コア機能を通じて「半角ダブルクォーテーション（”）」および「半角カンマ（,）」を含む形で登録したデータを入力項目の値として設定する場合には、「半角ダブルクォーテーション（”）」および「半角カンマ（,）」を半角スペースに置き換えて設定する必要があります。置き換えが必要となる対象の入力項目については、別紙2の備考欄にその旨記載をしておりますので、ご確認ください。

なお、当日分のデータを取得する際は、特段考慮不要です。

² 利用先が日本銀行に送信する電文を「照会上り電文」、日本銀行から利用先が受信する電文を「照会下り電文」といいます。

(3) 照会下り電文の出力データ

コア機能を通じて「半角ダブルクォーテーション (”)」、「半角カンマ (,)」および「改行コード」が含まれる形で登録されているデータ項目については、出力する際、「半角ダブルクォーテーション (”)」、「半角カンマ (,)」および「改行コード」を半角スペースに置き換えて出力します。置き換えて出力される対象の出力項目については、別紙3の備考欄にその旨記載をしますので、ご確認ください。

4. 使用する文字コード

「メッセージフォーマット仕様書（コア機能・業務データ編）」を参照してください。

5. エラー電文

照会データファイル取得機能において、照会下り電文のアプリケーションヘッダの「リターンコード」に「000000000」（正常終了コード）以外のコード値が設定されている照会下り電文をエラー電文といいます。

6. XMLスキーマ

照会上り電文のXMLスキーマは、日本銀行のホームページに掲載しています³。ダウンロードのうえ、ご利用ください。

表 I. 6-1 XMLスキーマファイルの名称付与ルール

XMLスキーマ	ファイルの名称付与ルール	ファイル名例
照会上り業務データスキーマ	メッセージ識別要素の物理項目名.xsd	i214201.xsd

³ 日本銀行ホームページの「業務上の事務連絡」に掲載しています。

II. メッセージフォーマットおよびファイルフォーマット

1. 対象電文一覧

CPU 接続が利用可能な照会データファイル取得機能の送受信電文は、別紙 1 を参照してください。

2. メッセージフォーマットおよびファイルフォーマット

(1) 照会上り電文メッセージフォーマット

照会上り電文のメッセージフォーマットは、別紙 2 を参照してください。

(2) 照会下り電文ファイルフォーマット

照会下り電文のファイルフォーマットは、別紙 3 を参照してください。

III. コード

1. 業務データとして使用するコード

(1) コード一覧

送受信電文において使用するコード一覧は、別紙 4 を参照してください。

(2) コード体系表

送受信電文において使用するコードの体系（桁数、コード値等）は、別紙 5 を参照してください。

2. リターンコード

(1) リターンコード体系

リターンコードの体系は、別紙6を参照してください。

(2) リターンコード値一覧

エラー電文のアプリケーションヘッダの「リターンコード」に設定されるリターンコード値一覧は、別紙7を参照してください。

以 上